

寄贈救急自動車事業について

救急企画室

1. はじめに

「令和2年中の救急出動件数等（速報値）」によると、救急自動車による救急出動件数は593万3,390件(前年比70万6,377件減、10.6%減)、搬送人員は529万4,045人(前年比68万3,963人減、11.4%減)で、ともに平成20年以來12年ぶりに、対前年比で減少しました。(図1参照)

一方で、消防庁から複数の消防本部へ聞き取りを行ったところ、現場到着所要時間や病院収容所要時間については、救急現場における新型コロナウイルス感染症への対応などを背景に、対前年比で延伸したとの報告が寄せられています。

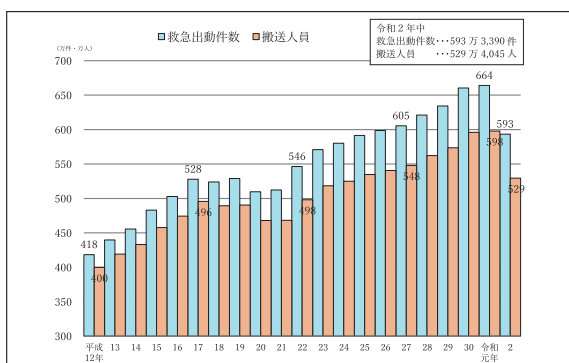


図1：救急自動車による救急出動件数及び搬送人員の推移
（「令和2年中の救急出動件数等（速報値）」より）

救急業務の高度化に伴い、消防本部では救急車両の増強・更新に際して高規格救急自動車の導入が積極的に図られています。図2参照）

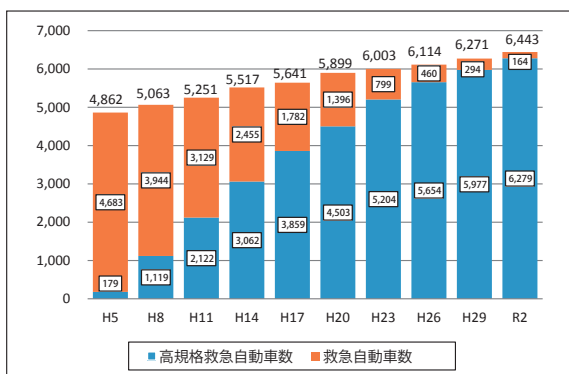


図2：高規格救急自動車数と救急自動車数の推移
（令和2年版救急・救助の現況から抜粋）

2. 寄贈救急自動車事業とは

寄贈救急自動車事業とは、全国の消防本部に高規格救急自動車を配備することで、各地域における救急業務の高度化、救急業務体制の更なる充実を図ることを目的とした事業です。消防庁では、寄贈元であるアステラス製薬株式会社、一般社団法人 日本自動車工業会及び一般社団法人 日本損害保険協会の3団体に対し、寄贈先となる消防本部の推薦を行っています。上記3団体からは、約50年に渡り全国の消防本部に高規格救急自動車の寄贈を実施していただき、令和3年4月1日現在において計2,690台の寄贈をいただいています。

寄贈を受けた消防本部からは「円滑な救急業務の遂行にあたり、高規格救急自動車の寄贈は大変ありがたい。」など、寄贈元団体への感謝の言葉が寄せられており、高規格救急自動車を寄贈いただくことは、救急業務の高度化、救急業務体制の充実に大きく寄与しているものと考えています。



一般社団法人 日本損害保険協会 寄贈 御坊市消防本部（和歌山県）
アステラス製薬株式会社 寄贈 金武地区消防衛生組合消防本部（沖縄県）
一般社団法人 日本自動車工業会 寄贈 平戸市消防本部（長崎県）

写真：令和2年度寄贈元団体と各消防本部の寄贈の様子

3. おわりに

今年度も、アステラス製薬株式会社、一般社団法人 日本自動車工業会及び一般社団法人 日本損害保険協会の3団体から高規格救急自動車を寄贈していただける予定です。今後も、全国各地において寄贈していただいた救急自動車が活躍し、各地域住民の方々の安心と、救急業務の高度化、救急業務の更なる充実が図られることを期待しています。

問い合わせ先

消防庁救急企画室 若味、久保田、呉地
TEL: 03-5253-7529